

議会だより 編集特別委員会



委員長	小松崎	誠
副委員長	古橋	智樹
委員	井坂	悦司
委員	小座野	定信
委員	藤井	裕一



● 2月の臨時会において、委員会等の構成委員が改選になり、議会だより編集特別委員会も新たな委員でスタートいたしました。今後ともよろしくお願いいたします。

豆辞典

報告へ⇒審議の経過や結果について疑問があれば質疑を行う。
討論⇒議案について議員が賛成・反対の意見を述べる。
採決⇒出席議員の過半数により可否を決定する。

委員長報告⇒委員会での審査結果を本会議に報告する。

委員会審査⇒付託された議案を詳しく審議して、委員会として可否を決定する。

委員会付託⇒より詳しく審査するため、所管の委員会に審査を付託する。

質疑⇒議案の内容について、疑問があれば提案者に質問する。

議案の説明⇒提案者が提出した議案の趣旨や内容について説明を行う。

議案の審査⇒議案での審査は、概ね次の順序で実施されます。

議会の審議



お知らせ

平成21年

第2回定例会市議会のお知らせ

第2回定例会市議会は、6月9日(火)から開会となります。会期日程については、お知らせ版に掲載いたします。議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも議会を傍聴してみたいかがでしょうか。

問い合わせ

詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0299 (59) 2111 内線 1302

ホームページ <http://www.city.kasumigaura.ibaraki.jp/gikai/>

メールアドレス gikai@city.kasumigaura.ibaraki.jp

編集後記

1980年代に物心がついた私には、当時のイギリスでの長引く不況やアメリカでの事故係争の茶飯事化など、他国の他人事と想っていたものでしたが、やがて日本人が持っている優れた柔軟性は、和洋折衷、無国籍化、欧米化といった多種多様な波と共にバブル崩壊の波、さらには世界恐慌の波に吞まれ、今や私たちの国家観、まちづくり観を見出し難い世論に支配されてしまいました。これは即ち、社会全体がバブルの水に慣れすぎたために、急激な景気悪化の変化に破れかぶれとなり、我が身可愛さに次世代への愛情がなくなってしまうのではないのでしょうか。かつて好きな言葉として選ばれた「忍耐」や「努力」といった日本近代化の世相を反映してきた代名詞が今や死語となり、この世界的な景気の悪化がさらに拍車をかけ、不可抗力の世相を謳う「安心安全」という解放的な言葉がますます流行る近頃となりました。本来は、バブル崩壊後に掲げた国家と地方の財政を建て直す「忍耐や努力」が、私たちの子孫のために残すまじぶくりでありました。しかし、今や恐ろしく「安心安全」の大型財政支出動は、かつての戦中のヤミ米を食べる状況に重ねることができているのではないのでしょうか。これは、忍耐できる体力もなく、己を生き長らえることが、次世代、子孫のためであるという精一杯の世事に解釈せざるを得ないものであります。今こそ「結果を見極める忍耐」と「物事を考え創る努力」の原点に返ることが不況の打開策でありましょう。加えて、これら喫緊の忍耐、努力すべき状況においても、他人の足を引っ張り不幸にいたらしめることで快樂に置換えるという社会の甲論乙駁の歪から生まれたこの悲しき性の自暴自棄を諫め、時には論ずこともまちづくりの不可欠な処方箋の一つであります。

議会だより編集委員 古橋智樹